

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2013-153145(P2013-153145A)

【公開日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-042

【出願番号】特願2012-272631(P2012-272631)

【国際特許分類】

H 0 1 F 1/11 (2006.01)

G 1 1 B 5/712 (2006.01)

G 1 1 B 5/706 (2006.01)

G 1 1 B 5/84 (2006.01)

H 0 1 F 1/113 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 F 1/11 N

G 1 1 B 5/712

G 1 1 B 5/706

G 1 1 B 5/84 Z

H 0 1 F 1/113

H 0 1 F 1/11 Q

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

前述の通り、前記表面改質剤は、前記硫黄系極性基が含まれることにより磁性粒子表面に吸着し表面を改質することができる。分子中で前記硫黄系極性基以外の部分が占める割合が多いほど、磁性粒子表面に吸着する表面改質剤の分子数が少なくなるため、良好な表面改質効果を得る観点からは、分子中で前記硫黄系極性基以外の部分が占める割合が大きいことが好ましい。この点から、前記表面改質剤は、前記硫黄系極性基を除く部分の分子量が 4 0 0 以下であることが好ましく、例えば 2 0 0 以下程度であってもよい。また、前記硫黄系極性基を除く部分の分子量は 5 0 以上であることが表面改質効果の点からは好ましい。